

大学連携に関する 取り組みの紹介

鹿児島県立種子島高等学校

「スマートエコアイランド種子島」事業との連携

2015年

「プラチナ社会講座」との教育連携(1,2年生向け)

- 講義 . . . プラチナ社会について学ぶ
- . . . RESAS活用
- . . . 専門学科向けのエネルギー講座

「スマートエコアイランド種子島」事業との連携

2015年

「プラチナ社会講座」との教育連携（2年生向け）

ワークショップ・・・種子島の課題発見

・・・進学志望系統とのマッチング

学んだことを元に、シンポジウムでの発表を総括とする。

「スマートエコアイランド種子島」事業との連携

2016年

「プラチナ社会講座」との教育連携

講義(1年生)・・・プラチナ社会について学ぶ

WS(2年生)・・・日本科学未来館の対話型WS(3回)

大学生とのセッション(3年生)・・・東京大学生をおもてなし

学んだことを元に、シンポジウムでの発表を総括とする。

「スマートエコアイランド種子島」事業との連携

2017年

「プラチナ社会講座」との教育連携

WS(2年生)・・・日本科学未来館の対話型WSをベースとした,
校内完結型WS。教員がファシリテーター。
2年生が1年生に対して, エネルギー問題を
考える機会をつくる。

「スマートエコアイランド種子島」事業との連携

2017年

「プラチナ社会講座」との教育連携

西之表市による人財育成派遣研修(2年生)
・・・東大生とのセッション
・・・佐渡高校との合同WS

「スマートエコアイランド種子島」事業との連携

これからの取り組み

(1・2年生向け)

- ・対話型WSのバリエーション
- ・各大学との連携講座
- ・人財育成派遣研修の継続&進化

→課題発見能力&解決能力をもった生徒の育成

→進路を切り開く

=第1部=

東京研修の振り返り

3泊4日の東京研修

研修初日

日本科学未来館で
最先端の科学技術を知る



3泊4日の東京研修

2日目

東大構内を見学



3泊4日の東京研修

2日目

国会議事堂で
日本の政治について
学ぶ



3泊4日の東京研修

2日目

スクランブル交差点を
味わってみました
I N渋谷



東京大学柏の葉キャンパスにて、佐渡高校とのワークショップ 事前に調べたお互いの島の現状と課題を発表 (3日目)

佐渡高校

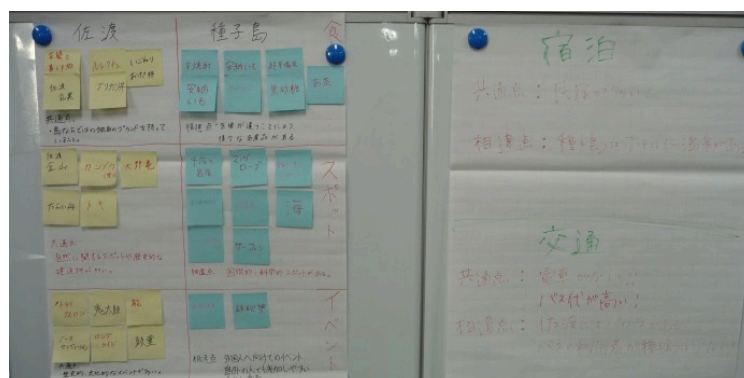
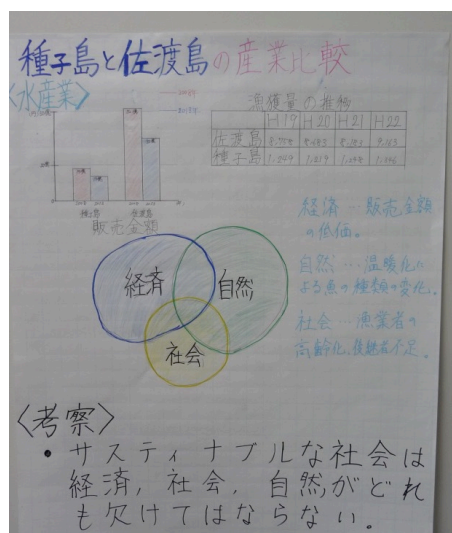


種子島高校



お互いの島の現状の課題を見つけ出し
解決策を提案

高校生と東京大学留学生のグループワーク



産業・観光・エネルギー

お互いの島の課題から将来、
より良い島にするための**自分たちの考え**を発表

全体発表終了後の東大松田先生、菊池先生のコメント

佐渡島、種子島ともに、島の現状は分析できていた。

次は**島の未来を考えて、そこから現在を見ること**をしてほしい。



松田先生



菊池先生

そこで今回

チームをパワーアップして

種子島の未来を考えました！！



= 第 2 部 =

30年後に遺したい種子島の未来

30年後に遺したい種子島の未来

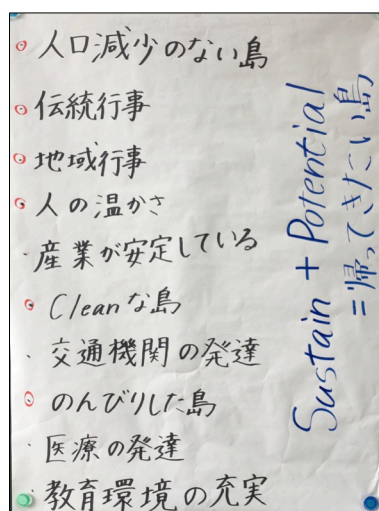
持続可能性

潜在能力

Sustainable + Potential

= 帰ってきたい、たねがしまんま

Sustainable + Potential
= 帰ってきたい、たねがしまんま

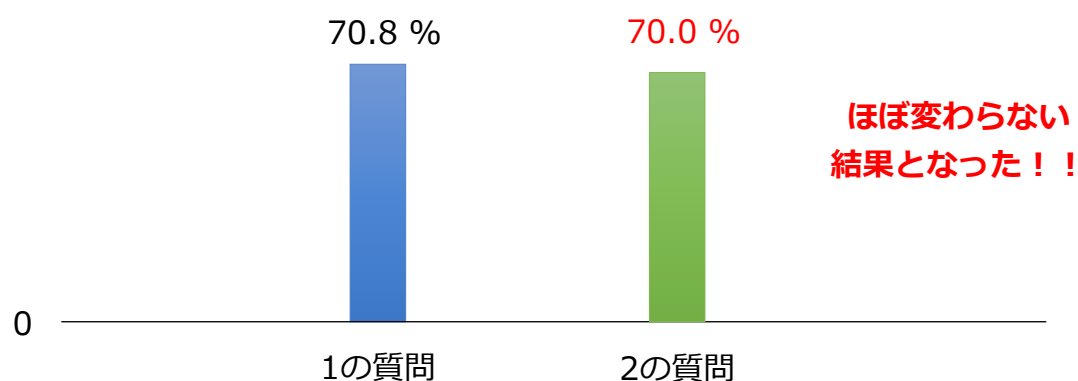


Sustainable = 持続させたいもの
Potential = 変化させていきたいこと

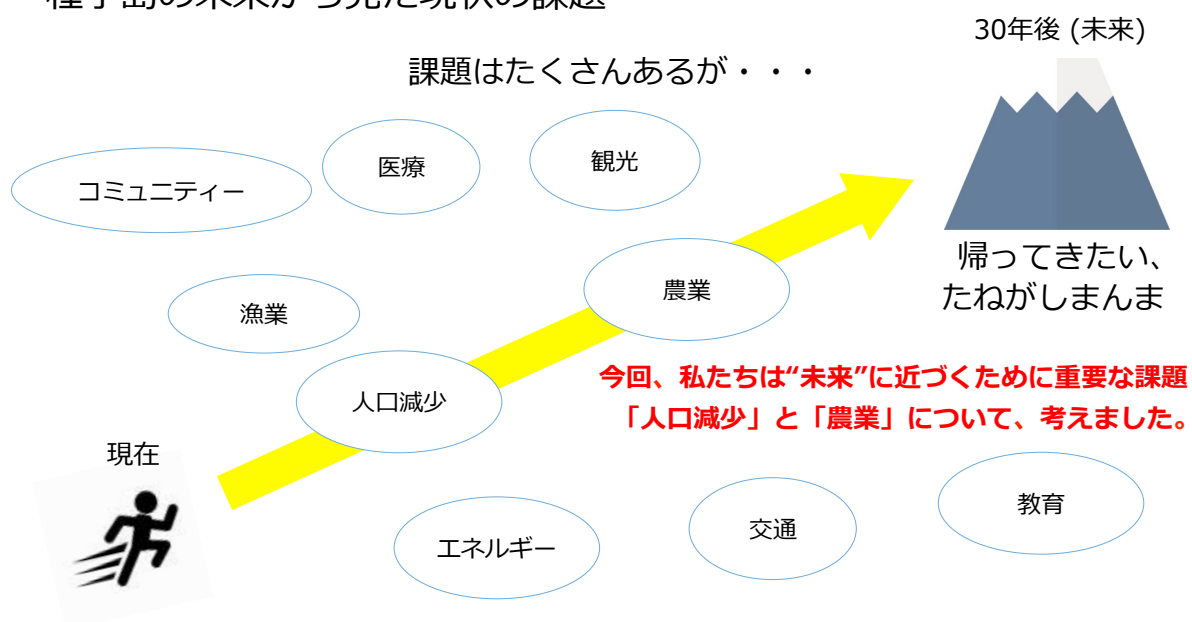
種子島高校生／暮らしの幸福度調査

【質問】(317人)

1. あなたは種子島の今の暮らしにどのくらい満足していますか？(%で回答)
2. 30年後も種子島に住んでいたとしたらどのくらい満足していると思いますか？



種子島の未来から見た現状の課題



課題 1 : 人口減少

○社会増減とは {

- 島外への進学・就職による減少
- 勤務地変更による転出

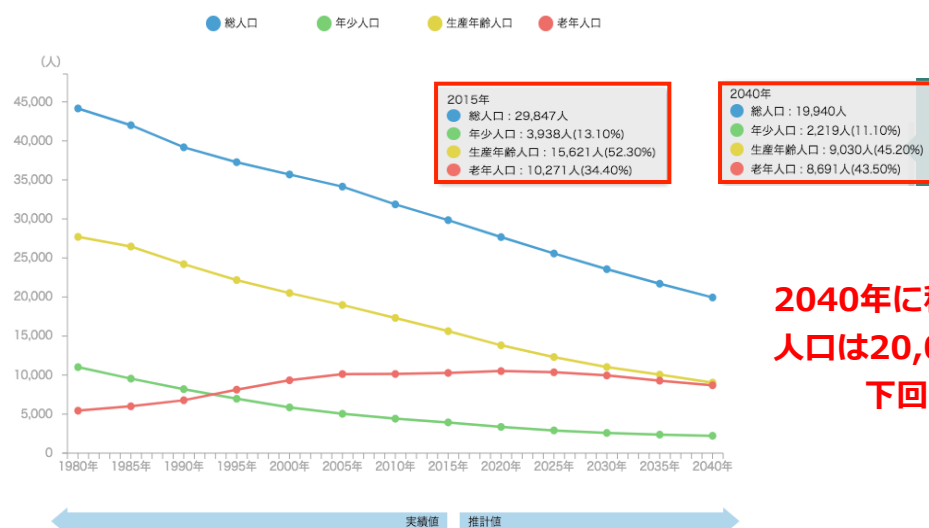
○自然増減とは {

- 若い世代の減少
- 出生数の減少

<仮説>

・人口が流出(社会減)することによって、出生数が減少(自然減)するのではないか。

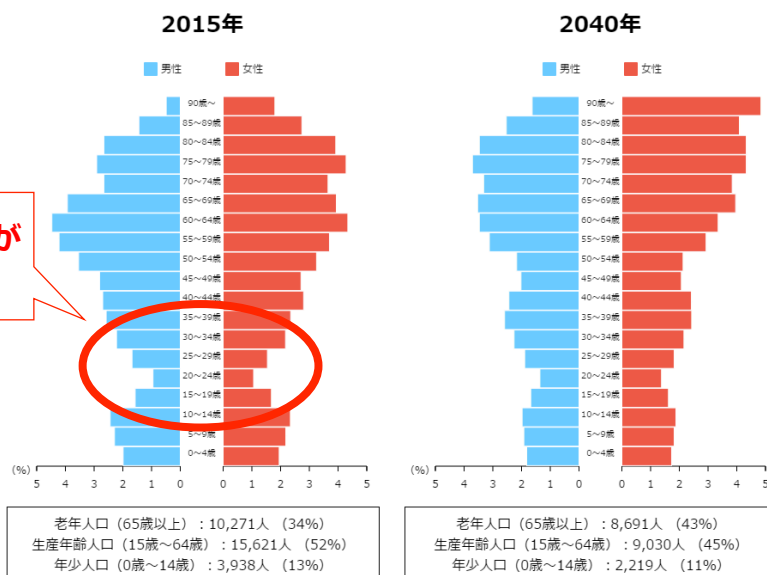
種子島の人口推移



出典：RESAS

種子島の人口ピラミッド

10代から20代が
くびれている！

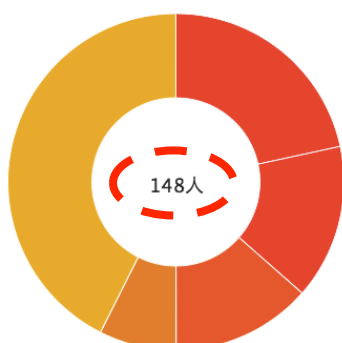


出典 : RESAS

西之表市 From-to 分析 (定住人口) 2016年

転入超過数内訳

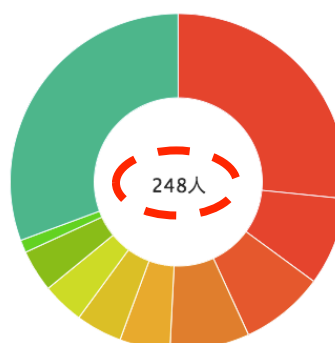
総数



- 1位 鹿児島県鹿屋市 32人 (21.62%)
- 2位 鹿児島県南種子町 22人 (14.86%)
- 3位 鹿児島県出水市 20人 (13.51%)
- 4位 宮崎県日南市 11人 (7.43%)
- 5位 その他 63人 (42.57%)

転出超過数内訳

総数



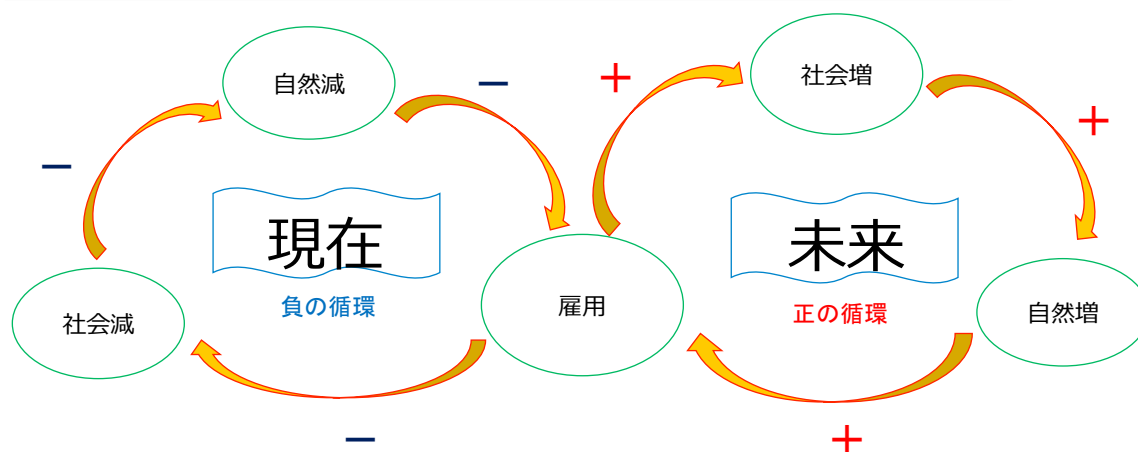
- 1位 鹿児島県鹿児島市 66人 (26.61%)
- 2位 鹿児島県霧島市 21人 (8.47%)
- 3位 鹿児島県薩摩川内市 20人 (8.06%)
- 4位 鹿児島県南さつま市 19人 (7.66%)
- 5位 鹿児島県曾於市 12人 (4.84%)

転入 < 転出
となっている。

出典 : RESAS

<解決策>

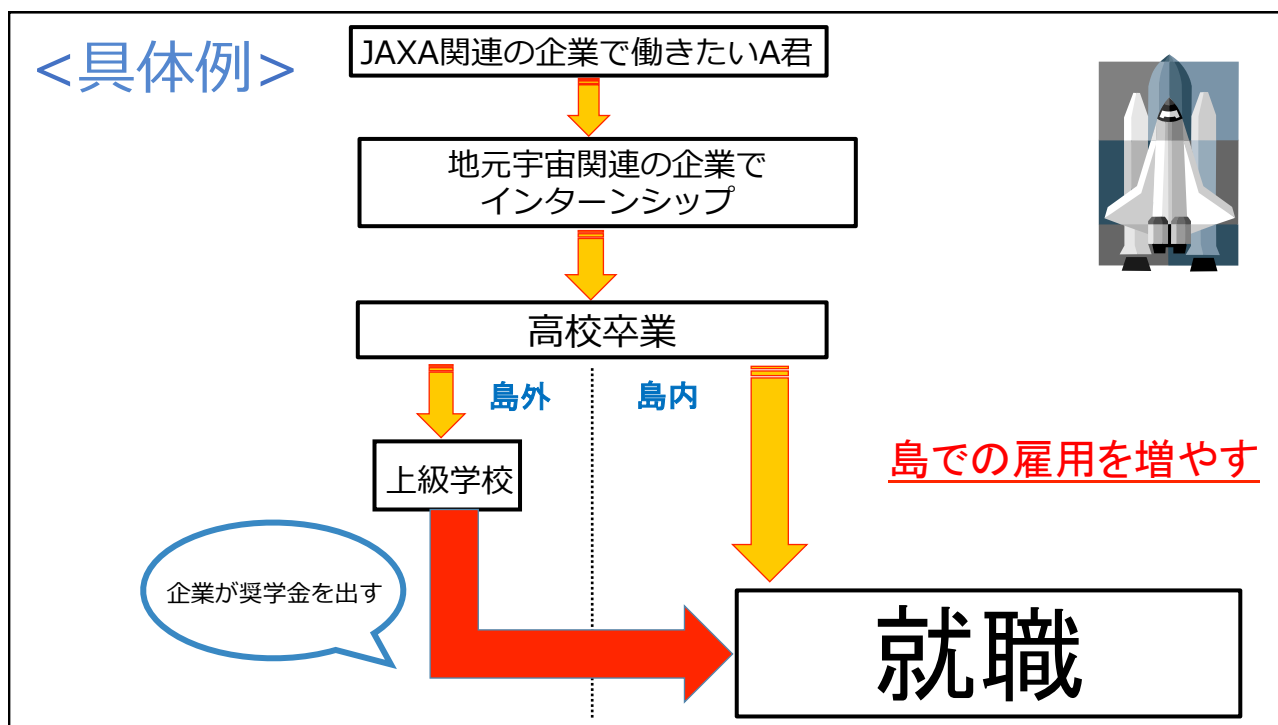
島のなかでの人材を循環させる



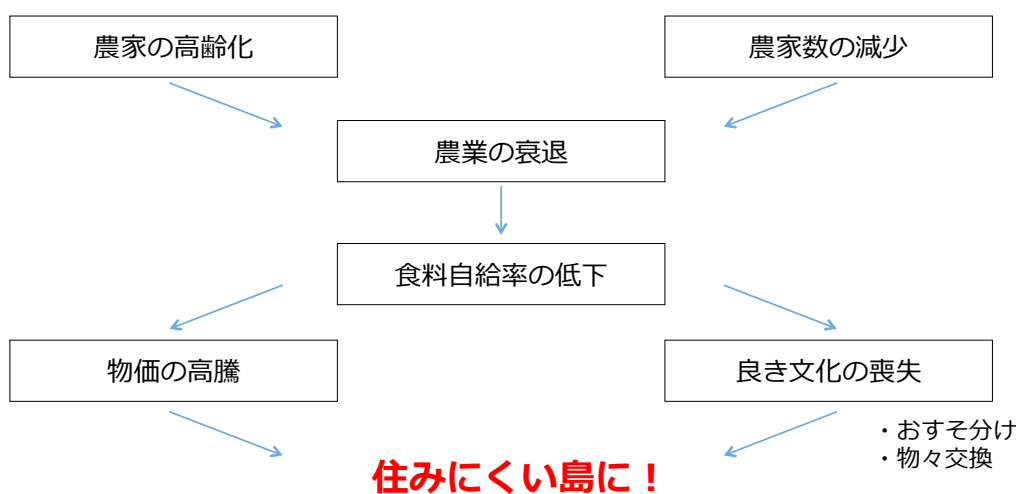
<提案>

- ・ 種子島高校と地元企業が提携して電気科に **宇宙関連のコース**をつくり、卒業後に地元企業に就職できるような環境をつくる。





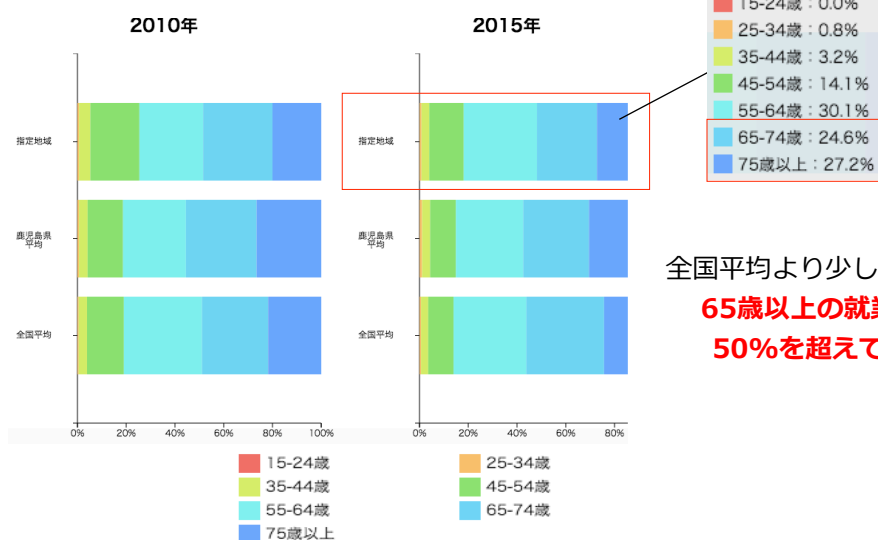
課題2：農業を支える人をどのように維持・増加させるか？



農業就業人口の年齢構成

指定地域：鹿児島県西之表市、鹿児島県中種子町、鹿児島県南種子町

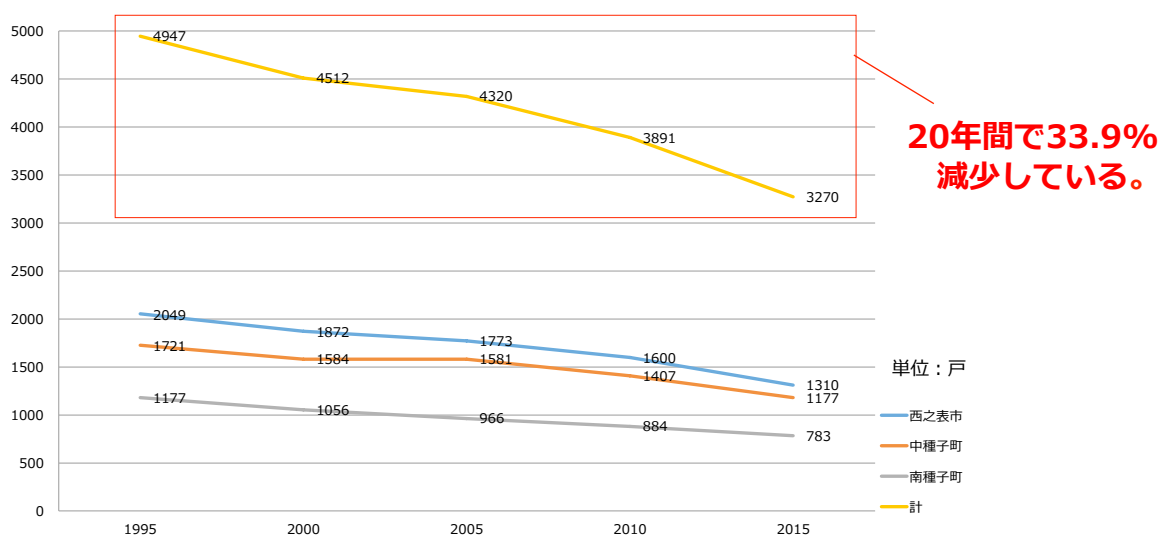
性別：総数



全国平均より少し下回るが、

**65歳以上の就業者が
50%を超えている。**

種子島総農家数の推移



出典：農林業センサス

ロケットスター4つの大作戦

① “若者超優遇” 大作戦

農業をやりたい若者を超優遇



- ・農業機械の無償レンタル
- ・空き家の貸し出し

③ “おとなのグリーンツーリズム” 大作戦

おとな向けの農業体験観光の充実



- ・農業に興味を持つ人の増加
- ・農作物の販売、体験料による収入アップ

② “農業の勉強するなら種子島” 大作戦

短大に農業コースを設置



- ・島内の若者の勉強場所の確保
- ・島外の学生勧誘

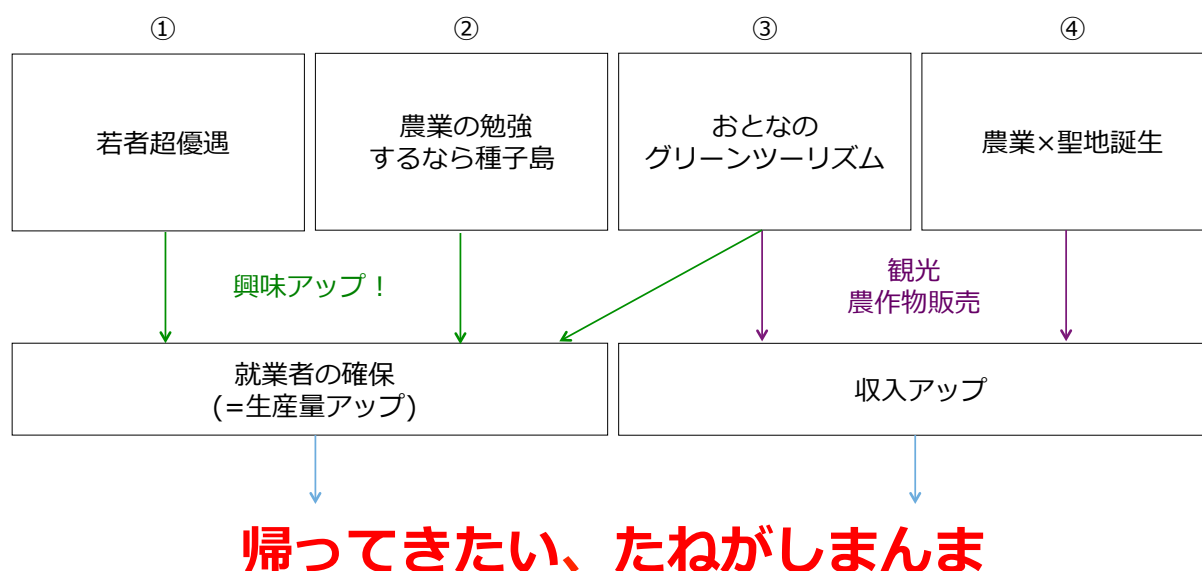
④ “農業×聖地誕生” 大作戦

アーティストの収入確保



- ・アーティストの生活、創作支援
- ・製作者の住んだ地域を回るツアー

ロケットスター4つの大作戦の効果



種子島の気質

歴史的な Welcome 感

① 難破船救助の歴史



- ・鉄砲伝来 (南蛮船)
- ・カシミア号

② 移住者の多さ



- ・移住者が作ってきた多くの地域
例) 静岡の移住者が古田のお茶を始めた。
- ・サーファー

30年後

「帰ってきたい たねがしまんま」
のために

持続可能性

潜在能力

Sustainable

+

Potential

=

サステンシャル
Sustential

な島を造ろう！

ROCKET STAR T

をきって行こう！！